

真野のこども

N05 令和4年9月1日 発行

☆充実した2学期に☆

2学期が始まりました。1学期の終業式で、「自分の命を大切にすること」について、話しました。この夏休み、家庭や地域の方々に見守られ、大きな事件、事故なく、子ども達は過ごせたようです。ありがとうございました。

さて、新型コロナウイルス感染症ですが、7月末頃から、感染者が2000人を超える日が続くなど、滋賀県でも変わらず、猛威をふるっています。これにより、2学期も様々な場面での活動の制約や制限された中での学校生活を余儀なくされます。そんな中でも2学期は「体育参観」や「校外学習」などの行事があります。自分のめあてに向かって努力したり積極的に取り組んだりする、生き生きとした姿で過ごしてくれることを期待しています。また、友だちのがんばりを応援し、互いに支え合える集団になってほしいと願っています。

夏休み明けの子どもの様子について

「自殺対策白書（内閣府作成）」によると、過去40年間の日別自殺者数は、夏休み明けの9月1日が最も多くなっています。その他、春休みやゴールデンウィーク等の連休等、学校の長期休業明け直後に自殺者が増える傾向があることが分かっています。約40日間の夏休みを終え、登校してくる子どもたち。様々な思いを抱え、登校をしてきます。ストレスが多くかかる時期です。

子どもたちの以下のような異変のキャッチをお願いします。

- ① 体調不良や学校への行き渋りがある。
- ② 登校日の朝に起きられなくなる。
- ③ 手洗いやお風呂が長くなる。
- ④ ペットやきょうだいにきつく当たる。

このようなサインが見られた時は無理をさせずに、緊張やストレスを和らげさせることが重要です。学校の担任や生徒指導担当、子ども支援コーディネーターに相談ください。教職員が一丸となって、子どもたちと関わり、小さな変容をしっかりとらえ、支援していきたい

と思っています。お子さんのことで、ご心配なことがありましたら、学校までどうぞお気軽にお知らせください。

*真野小学校ホームページにて、9月の下校時刻表を掲載しております。以下のQRコードを読み取り、ご覧ください。

